



学校だより

学校教育目標

3月号(第578号)

令和6年2月29日

横浜市立すみれが丘小学校

〈すすんで みんなで れいをつくして かんぱりつづけて おもいあって かがやきつづけるすみれっ子〉
～豊かな人間関係の中で、一人ひとりが自分のよさを十分に発揮し、互いに高め合う子を育てます～

地域とのつながりに感謝！

～ すみれリーダーズ プロジェクト ～

校長 栗原 信一

3月となり、6年生にとっては卒業の二文字が大きくなってきました。そんな6年生のあるクラスでは、昨年11月から、「すみれリーダーズプロジェクト」と題して総合の学習を進めてきました。この時点で4か月後の卒業を前に、すみれが丘の町のために自分たちに何かできることはないかと言う子どもたちの願いから活動がスタートしました。活動に入るにあたり、まずは11月に特別ゲストとしてすみれが丘町内会長さん、ビオラ応援団長さん、そして学校地域コーディネーターさんの3名を教室にお迎えし、みなさんがすみれが丘の町に寄せる思いをお聞きしました。お話を伺った後、子どもたちからは、「安心、安全な町にするためのポスターや看板を作りたい。」、「すみれのまちをお花で一杯にしたい。」、「青パト(町内会所有のパトロールの車)の放送を使わせてもらい、私たちの声で安心、安全なまちに向けてアピールしたい。」などいろいろな意見が挙がりました。6年生のすみれが丘の町を大切に思う姿がそこにはありました。そして、あいさつの響き合う町、ごみの落ちていないきれいな町にしたいという思いを町内会の方にお伝えしたところ、すみれが丘町内会の「青パト」で6年生の声を流したり、町内会の掲示板にポスターを貼ったりしてくださるとのありがたいお返事をいただきました。その後、町内会の方と連絡を取り合いながら活動は着々と進んでいきました。そして1月、町内会の方々が音響機材を携え来校してくださいました。

いよいよ青パト用の音声録音です。子どもたちは、自分たちで考えた呼びかけの言葉を分担しながらレコーディングしました。録音も完了し、あとはいよいよ青パトから音声を流してもらうこととなりました。月日が流れ2月のある晴れた日、6年生が体育で校庭に出ている際、偶然青パトが学校横を通りました。「今、青パトが南門側を通ったよ。聞こえたかな。校庭にいた子どもたちが手をふってくれて、それも追いかけてくれてうれしかったですよ。」と町内会の方から学校に連絡が入りました。正に



▲レコーディング風景

グッドタイミングです！6年生に感想を聞くと、「聞こえました！〇〇さんたちの声でした！」「本当に私たちの声が流れている！」と、とても喜んでいる様子でした。児童のすみれが丘の町に寄せる思いが一つの形となった瞬間でした。すみれが丘町内会の皆様のご協力で実現した今回のすみれリーダーズ プロジェクト、小学校生活最後にすみれが丘の町に貢献することができた6年生です。青パトから聞こえる小学生の明るく元気な声、掲示板に貼られたポスターにぜひ気を留めていただければ幸いです。

2月28日は、『ビオラ応援団 ありがとうの会』が体育館にて行われました。日頃より子どもたちの安心・安全、そして学習の充実のためにご尽力いただいています。ビオラ応援団(学援隊・授業サポーター・すみれサークル)の皆様には感謝の気持ちをお伝えしました。今後も地域、保護者の皆様と学校が関わりを深める中で子どもたちの成長を見守っていただくと願います。すみれっ子の成長を願う力が、すみれが丘の町には溢れています！今年度の地域、保護者のみなさんのご理解とご協力に感謝いたします。

